

山口県における 2013 年のスギ花粉飛散総数の予測

【記：山口県医師会理事 沖中 芳彦】

2012 年の夏は、熱中症で搬送された人数が過去最多となるなど、猛暑の日々でした。しかも暑い日が長く続き、9 月の日本の平均気温も観測史上最高であったそうです。しかし猛暑の割には、8 月末の時点でも雄花の形状を成したものがあまり認められませんでした（図 1）。スギ花粉が大量飛散した 2011 年の前年の 8 月末には、既にはっきりとした形状の雄花が多数確認されていま

した（図 2）ので、今シーズンは雄花が少ないのかとも思いましたが、その後、雄花は徐々に目立つようになりました。しかし、雄花の発育が例年よりも遅れているようにも感じています。

筆者はシーズン中の花粉数予測のために毎年 11 月上旬にスギの木の観察をしています。2012 年は前年と比べると、雄花を着けている枝の割合（筆者はこれを便宜上「着花率」と称して



図 1



図 2



図 3



図 4

おります) は多くの木で増加していました。図 3 と図 4 は同一の木の 2011 年と 2012 年の同時期のものですが、図 4 の方が雄花はかなり多めです。図 1、2 とも同じ木ですが、8 月末には図 1 の状態であったものが、11 月には図 4 のように雄花が増加しています。図 5 は年別のスギ雄花の着花率とスギ花粉数のグラフです(右頁)。棒グラフは左軸で、県内全測定機関のスギ総数の平均値、折れ線グラフは右軸で、20 数か所のスギの木の着花率です。筆者が従来から用いている平均着花率と花粉総数の回帰式によりますと、県内測定施設の平均値として、約 3,200 個/cm² というスギ花粉総数の予測値が導き出されました。これは平年値(最近 10 年間の平均としています) 2,450 個/cm² の 1.3 倍程度の値となります。しかしながら、今シーズンは前述のように雄花の着花が若干遅れている可能性もありますので、最終的に観察時よりも多めの着花数になるかもしれません。ただ、この冬は厳しい寒さになるとの長期予報がなされていますので、飛散期に雪や雨が多ければ、花粉飛散が抑制される可能性もあります。

一方、ヒノキの着花状態は、山口県では史上最多であった 2 年前のシーズンよりは少なく、少なかった昨シーズンよりは多いようです。図 6 ~ 8 は同一の木のそれぞれ 2010 年、2011 年、2012 年秋のものですが、2010 年では写っているほぼすべての葉先に白い花芽が着いているのに対し、2011 年では、約 30% 程度しか花芽が認められません。2012 年のものは、70% 程度に花芽がみられます。2013 年のヒノキ花粉数は、非常にアバウトで恐縮ですが、350 個/cm² (2012 年) と 2,200 個/cm² (2011 年) の間の値になるものと思われます。

筆者は本年度から県医師会役員の末席を汚しております。県医師会の花粉情報委員会委員を 18 年間務めさせていただき、委員長も 15 年間させていただきましたが、理事は委員を兼任できないため、委員を卒業致しました。新委員長は防府市の日吉正明先生です。私は、広報担当として、引き続き花粉情報委員会にもかかわらせていただくことになりました。胃の痛くなる花粉予測も継続することになりましたので、会員の先生方には引き続きよろしくお願い申し上げます。理事になっ



図 6



図 7



図 8

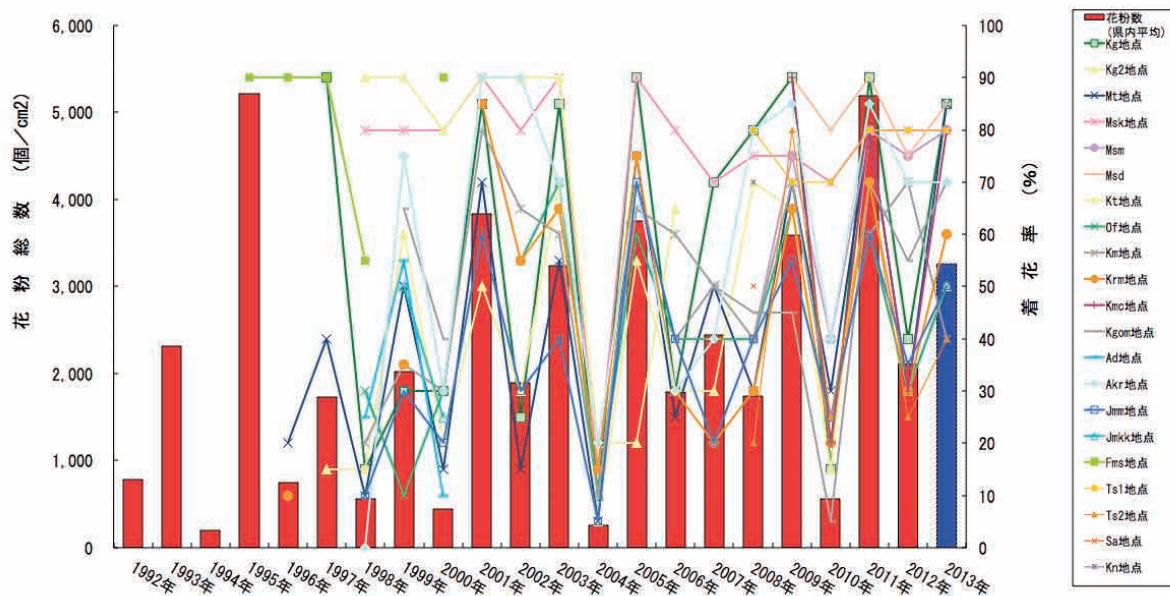


図5 年別のスギ雄花の着花率とスギ花粉数

て改めて感じるのですが、花粉情報の事業は多くの花粉測定機関の方々のご努力のおかげで成り立っています。スギ・ヒノキ花粉飛散期に約3か月の間、毎日花粉数のカウントをしていただいている方々には心から感謝申し上げます。一方でここ数年、公立病院の統廃合や人員削減等により測定が継続できなくなった施設も幾つかあり、誠に残念に思います。

2013年1月20日(日)には、県総合保健会館で県民公開講座として、第4回花粉症対策セミナー「これでバッチリ花粉症対策2013」が開催されます。特別講演の講師は、2007年の第1回に続き、榎本雅夫先生(NPO花粉情報協会副理事長)をお願いしております。ご講演の題名は「これしかない花粉症対策」という大変興味深いものです。是非ご参加くださいますようお願い致します。

県民公開講座 花粉症対策セミナー

花粉症対策 2013

入場無料 申込不要

とき

平成25年 **1月20日** 日 14:00~16:20

ところ

山口県総合保健会館 多目的ホール

(〒753-0814 山口市吉敷下東3-1-1)

問い合わせ/山口県医師会 広報情報部
☎083-922-2510

プログラム

講演1

スギ花粉だけがアレルギーの原因ではない — 雑草やダニにも要注意
山口県医師会花粉情報委員長 日吉 正明

講演2

山口県の花粉情報システムと平成25年のスギ花粉飛散予測
山口県医師会理事 沖中 芳彦

特別講演

これしかない花粉症対策
NPO花粉情報協会副理事長 榎本 雅夫

先着200名に粗品をプレゼント

花粉症クイズ

シンポジウム形式質疑応答

花粉症対策用品の展示

主催 山口県医師会 共催 山口県・山口県薬剤師会・NPO花粉情報協会